



## のづくりで、コンテスト＝工業高校生の頂点に挑戦する。



—まず、自己紹介をお願いします。

機械科3年、八浜中学校出身の花谷柚季です。機械工作部の部長をしています。よろしくお願いします。

—花谷さんは、進学先になぜ玉野商工高校を選んだのですか？

私の入学する年に機械科が新設されることを中学校の先生から聞き、玉野商工に行きたいと思うようになりました。当時から工業・ものづくりに興味がありました。

—機械工作部の部員は、全員で何人いますか？

1年生2人、2年生3人、3年生9人、総勢14人です。

—中学生のいちばん知りたいことだと思うのですが、「機械工作部」って何をする部なのですか？

「ものづくり」をする部です！

—「ものづくり」…よく聞く言葉なのですが、高校生にできるものなのですか？

できます！先生や先輩から学ぶので、できるようになります。ちなみに、私たちのいう「ものづくり」とは「機械」を使った「ものづくり」のことを指します。「機械を使う」ことが、私たちの部の特殊（とくしゅ）なところだと思っています。



—入部したばかりの1年生は、どんな練習をして機械工作を学ぶのですか？

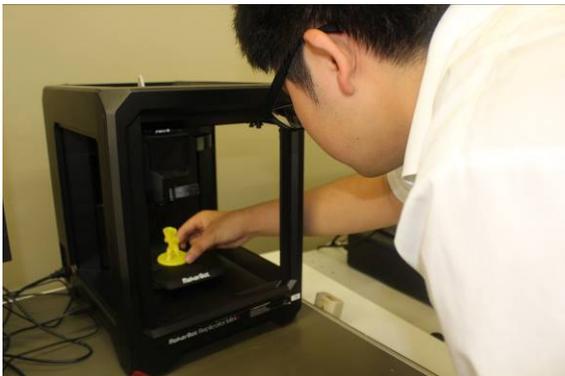
1年生は3D CAD（スリーディーキャド）や旋盤（せんばん）を使った金属加工に取り組んでいます。

旋盤とは円柱状の金属を加工する工作機械です。最初の頃は、切りくずが飛んで来るのがとても怖かったです。切りくずって、熱いんですよ。それでも旋盤が楽しいのは、りんごの皮をむくように鉄がけずれるから！

今ではすっかり慣れて、怖さはなくなりました。実習の授業でも、金属加工が人より速くできるようになったので、部活動での積み重ねの結果だと思っています。

# 機

械を使いこなせるようになる自分が、嬉しい。



—2・3年生になると、どんなことができるようになりますか？

2・3年生は3D CADと旋盤に加え、3Dプリンターも使いこなせるようになります。

3D CAD（スリーディーキャド）で立体的な図面をパソコンで製図し、3Dプリンターで作品に仕上げます。たとえば、最近ではフィギュアやフェイスガードの枠（わく）を作りました。

—部活動は大変ですか？

機械工作部は楽しいです！初めて使う機械については覚えなければならないことも多くありますが、使いこなせるようになった時はとても嬉しいです。がんばりましょう！

—では、活動実績について教えてください。

「ものづくりコンテスト」の旋盤部門に出場しています。制限時間内に工作物をどれだけ綺麗に作ることができるかを競います。工業高校生にとっての甲子園ともいえます。私たちの目標は、県大会突破のその先です。

—指導してくださる機械科の先生方について教えてください。

機械やパソコンについて、詳しく、マニアックに教えてくれます。先生方の手先の器用さや一緒に試行錯誤を重ねてくださる指導力が機械工作部の自慢です。



—機械工作部の雰囲気について教えてください。

明るく元気な雰囲気です。各学年ひとクラスずつの機械科なので親近感と連帯感があり、先輩・後輩も仲が良いです。

—最後に、玉野商工高校への進学、機械工作部への入部を考えている中学生に一言お願いします。

大変なこともありますが、機械工作部はやりがいのある部活動です。ぜひ、入部を待っています！

